

令和元年度実施の文化推進事業助成対象事業 (平成30年度決定事業) の評価結果

【総合評価】

- 1 平成30年度に助成決定した文化創造・発信事業5件及び文化団体活動3件については、令和元年度中におおむね事業計画に沿って実施されており、当初の事業目的を達成している。
- 2 文化創造・発信事業の事業者は、中央区文化推進事業助成審査会が開催する中間報告会（令和元年7月開催）や最終評価報告会（令和2年3月開催）において、実施状況等をつぶさに報告した。その際、いただいた審査会委員からの専門的な助言を事業運営や次年度以降の事業展開に向けた構想づくりに活用できた。
- 3 内容的に文化創造・発信事業5件は、いずれも中央区の歴史や伝統、あるいは芸術文化活動がいかされた文化事業であり、中央区の新しい文化の創造や発展につながることを期待できるものである。

また、文化団体活動3件も地域に根づく芸術文化活動を長年にわたり振興・発信している団体である。

文化創造・発信事業や文化団体活動とも、本助成を受けることにより、本区の文化振興に貢献したものと認められる。

今後、さらなる継続発展のためには、区内の関係団体や他の文化事業者との連携を図るとともに、後継者づくりなどの人材育成にも取り組んでいくことが必要である。

【各事業の成果】

- 1 文化創造・発信事業助成 5件

『心に残る・未来に残したい記憶「佃島・月島百景」』

今年度は新たに佃島にも焦点を当て、佃・月島に長く居住している方へのインタビュー映像をまとめ、ホームページで順次発信した。それらの素材を活用して、「まるごとミュージアム 2019」をはじめとするさまざまな地域イベントに講師として参加し、月島路地マップを活用した街あるきなどの取り組みを行った。同時に、「ビデオ上映&講演・意見交換会」も昨年度に引き続き開催した。こうした佃・月島の歴史的・文化的資源を再発見する取り組みにより、わがまちへの理解・愛着を深め、新旧住民や世代間の交流を進めるとともに、活力あるまちづくりにもつながる機会を提供することがで

きた。

日本橋旦那衆映像インタビュー動画制作

江戸以来、経済、商業、文化をリードしてきた日本橋。その地域でいきづく老舗の旦那衆等に対するインタビューを映像動画集にまとめ、区立常盤小学校別館1階ギャラリーの「日本橋歴史アーカイブス」で紹介している。街の歴史や特徴をデジタルデータとして整理し、誰もが見られるアーカイブスとすることで、自らの街のアイデンティティを再確認する機会を提供することができた。

200年前に生まれたアニメのルーツ「江戸写し絵」を体験しよう

江戸時代に大衆芸能としてはやり、アニメの原点ともいわれている「江戸写し絵」を「まるごとミュージアム2019」参加の文化事業者として上演した。カラクリ技術等が詰まった作品「だるま夜話」と日本橋の^{すぎのもり}榎森神社を題材にした新作「宿屋の富」の上演に加え、ワークショップも開催することで、中央区の文化遺産の再現と伝統芸能に触れる機会を提供することができた。

300人の小学生が30mの和紙に描いた絵画の巡回展示

平成30年10月に築地本願寺で開催された「世界はみな友だちフェスティバル2018」で、300人の小学生が30mの和紙に環境にやさしい特殊塗料を使用した巨大絵画を製作した。その大作を巡回展示することで、ユネスコの無形文化遺産である和紙の魅力を普及・啓発するとともに、世界平和を願う子どもたちのメッセージを世界に発信する機会を提供することができた。

お子様から大人まで♪ 一日まるごと音楽日和

「まるごとミュージアム2019」において、はじめてクラシック音楽に触れる乳幼児や本格的な演奏を聞くことができる小学生以上の子どもには、発達段階に応じた多彩な工夫を凝らし、あらゆる年代が気軽にクラシック音楽を楽しめる機会を提供することができた。

2 文化団体活動助成 3件

新富座こども歌舞伎 例大祭公演事業

歌舞伎にゆかりの深い中央区の子どもたちが、地域の人たちの指導や企業の協力を得ながら歌舞伎の稽古を重ね、地元の例大祭に合わせて公演を行っている。地域に根づいた稽古と公演をとおして、古典芸能への関心を深めるとともに、こども歌舞伎をふるさとの伝統文化として根づかせていくことに努めている。

わがまちの三世代を越えて心をつなぐ音楽活動

「暮れの第九発祥の地」といわれる中央区で、区内小・中・高等学校の児童・生徒の参加を得て、三世代にわたる相互交流を図りながら合唱活動を行っている。中央区交響楽団と一緒に演奏会を開催したほか学校への出前コンサートにも取り組んでおり、区民等が気軽に合唱の楽しさや素晴らしさを体感できるとともに、地域の芸術文化を広げ高めていくことに努めている。

中央区交響楽団第 25 回定期演奏会・創立 25 周年記念演奏会

地域に根ざしたアマチュア・オーケストラとして区内の音楽ホールで定期演奏会を開催している団体である。創立 25 周年として演奏者の多い大曲に挑戦し、例外的に区外の大規模ホールで記念演奏会を行ったほか、中央区第九の会の公演にも出演した。演奏会では、未就学児の親子も入場可能とするほか、平成 30 年の冬のコンサートから入場料を寄附制にするなど、次世代を含めた幅広い年齢層の方が気軽にクラシック音楽を楽しめる機会づくりに努めている。

【中央区文化推進事業助成審査会委員】

委員長 高萩 宏

委員 大久保邦子、陣内秀信、四ノ原恒憲、新治 満